



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 45 No. 3
June 2020**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース

Contents

日本毒性学会からのお知らせ

2020 年度年会費の納入のお願い	23
社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠（委任状）回答システムへのご登録のお願い	27
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第 4 報）	28
第 23 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験	30
日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書	32
認定試験受験資格のための評点表	34
第 47 回日本毒性学会学術年会のご案内（第 6 報）	36
第 46 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	39

その他のお知らせ

日本動物実験代替法学会第 33 回大会	40
---------------------	----

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

2020 年度年会費の納入のお願い

日本毒性学会定款第 11 条（会費）に基づき、2020 年度の会費の納入を受け付けております。会費は日本毒性学会の運営・活動の原資となりますので、年会費の納入をお願いいたします。

本年 3 月に一斉メールでお知らせいたしましたとおり、評議員および一般・学生会員は会員専用マイページにログインし、会費納入状況のページより年会費のクレジットカード決済を行うことが可能となっております。

2019 年度以前の未払いの年会費についても、同様の手続きでクレジットカード決済が可能です。

ログイン URL：<https://area31.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lfes8mjgct9/g7DahB/login.html>

操作詳細は次ページをご参照ください。

なお、従来どおり郵便振込による会費納入も可能です。

振込先口座情報もマイページの会費納入状況のページ画面にてご案内いたしておりますので、そちらをご参照ください。

5 月末日までにクレジットカードか郵便振込による会費納入が確認できなかった会員宛には、6 月以降、郵便振込用紙を順次郵送します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本毒性学会
理事長 熊谷 嘉人
総務委員長 広瀬 明彦

マイページからのクレジット決済方法

マイページにログインし、「会費納入状況」をクリックします。

The screenshot shows the 'マイページ' (My Page) interface. At the top, there are navigation links: Home, お知らせ (Notice), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), and パスワード変更 (Change Password). A 'ログアウト' (Logout) button is in the top right. Below the navigation is a 'メニュー' (Menu) section with a table showing member details: 会員番号 (Member No.) 99999 and 氏名 (Name) 山田 太郎 (Yamada Taro). To the right, there is introductory text for new users and four main action buttons: お知らせ (Notice), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), and パスワード変更 (Change Password). A green callout bubble points to the '会費納入状況' button with the text: 「会費納入状況」をクリックします。 (Click on 'Membership Fee Payment Status').

「会費納入状況」画面が開きます。

The screenshot shows the '会費納入状況' (Membership Fee Payment Status) page. At the top, there are navigation links: Home, お知らせ (Notice), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), and パスワード変更 (Change Password). A 'ログアウト' (Logout) button is in the top right. Below the navigation is a 'メニュー' (Menu) section with a table showing member details: 会員番号 (Member No.) 99999 and 氏名 (Name) 山田 太郎 (Yamada Taro). To the right, there is introductory text for new users and four main action buttons: お知らせ (Notice), 会費納入状況 (Membership Fee Payment Status), 会員情報閲覧・変更 (View/Change Member Information), and パスワード変更 (Change Password). A green callout bubble points to the '会費納入状況' button with the text: 「会費納入状況」をクリックします。 (Click on 'Membership Fee Payment Status').

The '会費納入状況' (Membership Fee Payment Status) page displays a summary table and a list of annual fee requests.

会費未納額合計	¥ 7000		
前受金合計	¥ 0		
入会金請求額	-	入会金入金額	-
2017年度会費請求額	¥ 7000	2017年度入金額	¥ 0 請求書
2016年度会費請求額	¥ 7000	2016年度入金額	¥ 7000 領収書
2015年度会費請求額	¥ 7000	2015年度入金額	¥ 7000 領収書
2014年度会費請求額	¥ 7000	2014年度入金額	¥ 7000 領収書
2013年度会費請求額	¥ 7000	2013年度入金額	¥ 7000 領収書

※本システムで表示できるのは、直近5年分の納入状況のみです。
 ※会費のお振込みから納入状況の反映までは、10日程度お時間をいただく場合があります。

【会費のお支払いについて】
 クレジット決済の場合
 下記のボタンをクリックしてください。
[クレジット決済へ](#)

会費の未納分をクレジット決済する場合は、こちらをクリックしてください

クレジット決済のお手続きにはVISAまたはMASTERカードをご利用ください。
 クレジット決済の詳細い支払方法は[こちら](#)をご確認ください。
 クレジット決済に関する特定商取引法に基づく表示については[こちら](#)

クレジット決済会社の決済用ページが開きます。
 カード番号等を入力し、「お申込み内容確認」ボタンをクリックします。

クレジットカード決済お申し込み
 サイト名 一般社団法人日本毒性学会

お申し込みになる場合は、以下の項目をすべてご入力いただき「お申し込み内容確認」ボタンを押してください。

ご利用内容	
ご利用金額	¥7,000
ご利用代金の請求名	一般社団法人日本毒性学会

クレジットカード決済申し込みフォーム	
電話番号	<input style="width: 80%;" type="text"/> (例) 0001234567 【半角】【ハイフンなし】
メールアドレス	<input style="width: 80%;" type="text"/> (例) zeus@example.jp 【半角】
カード名義	<input style="width: 80%;" type="text"/> (例) TARO YAMADA 【半角】 <small>カード上の名前と申込者名が一致しない場合、クレジットカード使用停止などの処分が課せられる場合があります。</small>
カード番号	<input style="width: 80%;" type="text"/> (例) 1234567891234567 【半角】【ハイフンなし】
カード有効期限	▼月 / 20 ▼年 (例) 12月 / 2010年
セキュリティコード	<input style="width: 80%;" type="text"/> (例) 999 【半角】 セキュリティコードとは？ <small>クレジットカードの裏面に記載されている3桁または、表面に記載されている4桁の番号です。</small>

セキュリティコード

※下記「個人情報の取扱いについて」にご同意いただける場合は、「お申し込み内容確認」を押してください。

内容ご確認後、「お申し込み」ボタンをクリックします。

クレジットカード決済お申し込み
 サイト名 一般社団法人日本毒性学会

ご利用内容	
ご利用金額	¥7,000
ご利用代金の請求名	一般社団法人日本毒性学会

クレジットカード決済申し込みフォーム	
電話番号	<input style="width: 80%;" type="text"/>
メールアドレス	<input style="width: 80%;" type="text"/>
カード名義	<input style="width: 80%;" type="text"/>
カード番号	<input style="width: 80%;" type="text"/>
カード有効期限	<input style="width: 80%;" type="text"/>
セキュリティコード	<input style="width: 80%;" type="text"/>

※「お申し込み」ボタンを1度だけ押してください。10秒前後でページが更新されます。

決済が完了いたします。また、入力したメールアドレスに決済完了メールが届きます。

クレジットカード決済お申し込み
サイト名 一般社団法人日本毒性学会

決済が完了しました。
ご利用ありがとうございました。

[トップページへ](#)

社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠（委任状）回答システムへのご登録のお願い

一般社団法人 日本毒性学会
社員（一般会員及び学生会員）各位

平素より日本毒性学会の活動、運営にご協力を賜り御礼申し上げます。

定款第4章に定められておりますように、「社員総会」を、下記の要領で学術年会期間中にオンラインで開催いたします。

本年は、Web開催となっておりますが、第一会場の枠でのWebexシステムへの参加により総会に参加できます。しかし、例年とは異なる総会開催方式により参加がスムーズにいかない可能性もありますため、出席予定の方も、積極的な委任状の提出をお願いいたします。

また、本年は新理事・監事の推薦と承認が予定されていますが、理事長の選出や指名理事の選定のための理事会を2日目に行うため、大会初日と3日目の2部構成で総会を開催いたしますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

※本年4月にメールにてお知らせ致しましたとおり、ご出席・ご欠席に係わらず「出欠票（委任状）」を、「電磁的総会出欠（委任状）回答システム」により、2020年6月10日（水）までにご提出下さい。提出方法は、下記、登録方法をご覧ください。

【電磁的総会出欠（委任状）回答システム 登録方法】

- 1) 下記 URL から、会員番号とパスワードを入力し、マイページにログインしてください。
<https://area31.smp.ne.jp/area/p/mdkj9lftes8mjqct9/g7DahB/login.html>
- 2) マイページのトップに、電磁的総会出欠（委任状）回答ページへのナビメッセージが表示されています。
- 3) ナビメッセージをクリックすると、出欠回答入力ページへ遷移します。
- 4) 「出席しない」を選択すると、委任状入力フォームが表示されます。
第一部と第二部の各々について、必要事項を入力し、「送信」をクリックしてください。

記

2020年度 一般社団法人日本毒性学会 社員総会

日時：第一部：2020年6月29日（月）12：40 - 14：00（予定）
第二部：2020年7月1日（水）12：30 - 13：00（予定）

場所：オンライン（第一部、第二部共に第一会場）

- 議案：1. 2019年度事業報告および収支決算（第一部）
2. 2020年度事業計画および収支予算（第一部）
3. 新理事・幹事の承認（第一部）
4. その他（第一部）
5. 理事長指名理事の承認（第二部）

以上

社員総会の決議には、定款第24条に定められておりますように、総社員（一般会員及び学生会員）の議決権の「過半数」を有する社員の出席が必要です。定足数に満たない場合は社員総会として成立しなくなり、重要な議決事項が決定できず、本学会の運営に大きな支障を来すこととなります。社員総会に欠席される場合には、必ず委任状をご提出されますよう、重ねてお願い申し上げます。

また、お近くの会員の方に、委任状の提出をお勧めくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年6月
一般社団法人日本毒性学会
理事長 熊谷 嘉人

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第4報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会として、幅広い領域にまたがるトキシコロジーに関する基礎知識を体系的に集中学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての多領域にわたる知識をブラッシュアップしながら新たな技術、課題などをインプットする生涯教育講習会を開催いたします。

「第21回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます（2020年度はSOT開催が急遽中止となったため、派遣報告は無しとなります）。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日 時

2020年6月28日（日）

2. 会 場

WEB開催

3. プログラム

1) 特別教育講演 10:40～11:30

林 多恵 先生

（一般財団法人化学物質評価研究機構）

「化学物質の管理とリスク評価」

2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー： “運動器（筋）/骨格”

2) - 1 11:30～12:20

寶来 直人 先生（新日本科学）

「非臨床研究における運動器評価の重要性」

（昼休憩 12:20～13:30）

2) - 2 13:30～14:20

瀬川 博子先生（徳島大学大学院医歯薬学研究部）

「リン代謝調節機構－多臓器連関－」

2) - 3 14:20～15:20

松尾 沙織里先生（中外製薬）

「非病理学者のための病理学講義－骨・骨格筋の構造と毒性変化－」

4. 参加申込および参加費

1) 申込期間

2020年3月9日（月）～6月12日（金）

2) 申込方法

当学会ホームページよりお申込下さい。

登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

3) 納入方法

ホームページよりお申込の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：みずほ銀行

支店：麴町支店（021）

口座番号：普通 1348658

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

*振込手数料はご負担ください。

*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名（会員の方は会員番号）、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

4) 参加費

事前申込	
会 員	5,000 円
非会員	7,000 円
認定トキシコロジスト	3,000 円

*受講料はお申込みから5日以内にお振込み下さい。

*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。

*キャンセルに伴う返金に関しては、セミナー資料事前送付前に限り、対応します。事務局から資料送付後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。詳細は別途事務局までお問い合わせください。

5. 問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局
〒100-0003
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内
TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555
E-mail: jsotq@jsot.jp

「第23回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。なお、本年度はコロナウイルス感染症対応策といたしまして、以下のスケジュールで進めさせていただきます。

1. スケジュール

・2020年7月2日(木)：認定試験の実施/延長の判断
-実施する場合

2020年9月27日(日)：

認定試験(9:45~17:00 予定)

予備日10月3日(日) - 台風などの自然災害の場合
-延期する場合

・2020年9月1日(火)：認定試験の実施/中止の判断
-延期して実施する場合

2020年11月29日(日)：

認定試験(9:45~17:00 予定)

予備日12月6日(日) - 台風などの自然災害の場合
-中止の場合

2020年度は認定試験を実施しない。-中止の場合

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス

3. 受験料

30,000 円

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2000年, 2005年, 2010, 2015年, 認定トキシコロジストに認定された方(認定トキシコロジスト No.171 ~ 194, 304 ~ 325, 457 ~ 480, 577 ~ 627)は2020年が資格更新の時期となります。更新手続きの詳細は、希望対象者宛に2020年7月頃に郵送いたしますのでご確認ください。

毒性学ニュース, 学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は6月上旬, 締め切りは8月中旬を予定しています。なお, 可能な限り, 2018年5月発刊の「第3版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他, 詳細につきましては, 2020年6月にご案内いたします。

第 23 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験

日本毒性学会

教育委員会委員長

鈴木 睦

認定試験小委員会委員長

古川 賢

下記の要領で認定試験を実施いたします。

受験希望者は毒性学ニュースまたは学会ホームページに掲載の「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」を熟読の上、出願して下さい。

出願時に提出された書類に基づく書類審査で上記規程に記載されている一定の基準に達しない場合は、認定試験を受けることができませんので出願に際してはこの点に十分に気をつけて下さい。

書類審査で受験資格が認められた場合、試験日の10日前までに受験票をご本人宛送付いたします。試験当日は必ず受験票を持参して下さい。

日本語・英語のいずれか言語での受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時

2020年9月27日(日)(9:45～17:00予定)

予備日10月3日(日)

延期した場合

2020年11月29日(日)

予備日12月6日(日)

2. 会 場

昭和大学 旗の台キャンパス
4号館6階600号教室(予定)

(東京都品川区旗の台1-5-8)

*東急池上線・大井町線

旗の台駅東口下車 徒歩5分

3. 出願期間

2020年7月3日(月)～8月17日(金)(必着)

延期した場合

2020年9月7日(月)～10月19日(金)(必着)

4. 出願書類

1) 願書と受験者確認票

2) 写真2枚(縦3.5cm×横3cm)

※6ヶ月以内のもの

(願書と受験者確認票の所定欄に貼付)

3) 認定試験受験資格のための評点表および証明資料
出願時には次のことにご注意下さい。

・会員歴：出願時にJSOTの会員であること

・研究歴

詳細は「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」をご覧ください。
出願書類は記録の残るもの(書留、信書便等)でお送り下さい。

5. 受験料

30,000円(下記の郵便振替口座にお振込の上、
払込票のコピーを出願書類に同封下さい)

郵便振替口座番号：00150-9-426831

加入者名：一般社団法人日本毒性学会

※領収書につきましては、振込時の振替払込請求書兼受領証にかえさせていただきます。

(通信欄に会員番号を明記下さい)

※出願が受理されますと、受験料は認定試験を受験しなくても返還できませんので、ご注意ください。

6. 出願書類送付先・問合せ先

一般社団法人日本毒性学会 事務局

認定試験小委員会

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム内

TEL. 03-6267-4550 FAX. 03-6267-4555

E-mail: jsotq@jsot.jp

切 り 取 り 線

第 23 回日本毒性学会 認定トキシコロジスト認定試験受験者確認票

写真貼付欄

※6ヶ月以内のもの

受験番号

氏 名

(氏名をご記入下さい)

日本語受験 英語受験 (希望する方に✓を入れてください)

Application Form Guidance Notes about the 23rd Certification Examination for Diplomate of the JSOT

The Japanese Society of Toxicology (JSOT)
 Chair of Education Committee: **Mutsumi Suzuki**
 Chair of Certification Examination Subcommittee: **Satoshi Furukawa**

We would like to inform you that the 23rd certification examination for the diplomate of the JSOT will be conducted in the following manner:

Applicants are requested to submit application documents after careful reading of "Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)" presented in Toxicology News or on the homepage of the society.

If you do not reach the prescribed level at the screening of application documents shown in the above regulations, you cannot take the certification examination. Therefore, please take a great care for applying.

When you are qualified for the certification examination, we will send you an admission ticket no later than 10 days prior to the examination. You must bring the admission ticket to the examination.

You can take the certification examination in English from this time. If you want to do so, please check the box of requesting the examination in English in the application form. The 23rd Certification Examination is going to be conducted according to the following schedule in order to prevent coronavirus infection.

1. Schedule

July 2, 2020 (Thursday): Judgment on conducting or postponing the examination

September 1, 2020 (Tuesday): Judgment on conducting the examination with postponed schedule or cancelling. If the examination is judged to be cancelled, it will be skipped during the fiscal year 2020.

The date of examination in case of on schedule:
 September 27, 2020 (Sunday), 9:45 to 17:00
 Spare date is October 3, 2020 (Sunday).

The date of examination in case of postponed schedule
 November 29, 2020 (Sunday), 9:45 to 17:00
 Spare date is December 6, 2020 (Sunday).

2. Venue of the examination

Hatanodai Campus of Showa University
 (1-5-8 Hatanodai, Shinagawa-ku, Tokyo)
 * Take Tokyu Ikegami Line or Oimachi Line, then get off at East Exit of Hatanodai Station and walk for 5 minutes.

3. Application period

On schedule:
 Open from July 3 (Monday), no later than August 17 (Friday), 2020

Postponed schedule:

Open from September 7 (Monday), no later than October 19 (Friday), 2020

4. Application documents

- 1) Application form and examinee's identification form
- 2) 2 face photos* (3.5 cm height × 3 cm width)
 (To be pasted to the appropriate spaces of the application form and examinee's identification form.) *Within 6 months
- 3) Score table of eligibility for admission to certification examination and data to prove confidence of self-rated scores
 Please make sure the following when you apply for the examination:
 - Member history: applicants must be JSOT members at the time of application
 - Research history

Detailed information is provided in the Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT). You are expected to send application documents by a method that keeps a historical record (registered mail, confidential correspondence delivery, etc.).

5. Examination fee

¥30,000
 Please pay money into the following postal transfer account and enclose a copy of the Payment Slip with the application documents:

Postal Transfer Account No.: 00150-9-426831
 Subscriber's name: The Japanese Society of Toxicology
 * Transfer Payment Invoice and Receipt will be used as a receipt of the examination fee.

(Please write Membership No. in the message column of the Payment Slip.)
 Examination fee is non-refundable whether you take the examination or not, as long as the application is accepted.

6. Address for application submission

Certification Examination Subcommittee
 Bureau of The Japanese Society of Toxicology
 in Mainichi Academic Forum Inc.
 Palace Side Building, 1-1-1, Hitotsubashi, Chiyoda-ku,
 Tokyo 100-0003, Japan
 Phone: +81-3-6267-4550 Fax: +81-3-6267-4555
 E-mail: jsotq@jsot.jp

C u t o f f l i n e

Examinee's Identification Form for the 23rd Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Please paste your recent face photo within 6 months

Examinee's No. _____

Name _____

(Please fill-in your name)

Examination in: English Japanese

(Please check the language in which you want to take the exam)

日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書

年 月 日提出

ふりがな
氏名：

会員番号：

生年月日：西暦 年 月 日（ 歳）

所属機関：

職名：

学歴：

高等学校卒業 短期大学等卒業 4年制大学等卒業 6年制大学等卒業

(該当する□にチェック)

写真貼付欄
※6ヶ月以内に
撮影したもの

卒業年	学校名および学部学科等
西暦 年 月	
西暦 年 月	
西暦 年 月	
卒業後 年 カ月	

注：大学院を含まない

毒性学関連の職歴および大学院等における毒性学関連の研究期間：

期間（西暦）	年数	職歴（企業名），大学院等
年 月～年 月	年 カ月	
年 月～年 月	年 カ月	
年 月～年 月	年 カ月	
年 月～年 月	年 カ月	
年 月～年 月	年 カ月	
通算 年 カ月	注：修学期間，就業期間および研究実績期間の重複は多重に計上しない	

*受験する言語の選択：日本語版 英語版*受験票送付先：所属機関 自宅

〒

住所：

電話：

FAX：

E-mail：

(お持ちの方は必ずご記入下さい)

*緊急連絡先：

Application Form for Certification Examination for Diplomate of the JSOT

Date submitted: / / (MMM/DD/YYYY)

Name: _____

Membership No. : _____

Date of birth: / / (MMM/DD/YYYY) (years old)

Affiliated institution: _____

Job title: _____

Education: (Graduated from the following:)

High school Junior college 4-Year university 6-Year university

(Please check the appropriate box.)

Please paste your recent face photo within 6 months.

Year of graduation	Names of the school, faculty, department, etc.
/ (MMM/YYYY)	
/ (MMM/YYYY)	
/ (MMM/YYYY)	
year(s) and month(s) after graduation	Note: Please do not include graduate school

Toxicology-related work experiences and research periods at graduate schools, etc.:

Period	Duration	Work experience, graduate schools, etc.
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
/ (MMM/YYYY) to / (MMM/YYYY)	year(s) and month(s)	
Total: year(s) and month(s)	Note: Please avoid overlap among each period.	

* **Do you want to take the examination in English or Japanese?** English Japanese

* Preferred address to send the examination authorization slip: Affiliated institution Home

Zip code: _____

Address: _____

Phone: _____

Fax: _____

E-mail: _____

* Emergency contact details:

認定試験受験資格のための評点表

「一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程」の付表（脚注に注意）を参考に自己採点の上、下表（評点表）の該当箇所に評点を記入して下さい。

なお、下表中の論文についてはそのコピーを、学会等参加については参加証のコピーを、学会等発表については学会開催年を付記した講演要旨のコピーを、また、講習会については参加証のコピーを、それぞれ証明資料として添付して下さい。

（評点表にも忘れずに氏名と所属機関をご記入下さい）

氏名：

所属機関：

種別	評点項目	評点
論文	毒性学関連論文 ^{1),2)}	
学会活動	JSOT 学術年会	発表 ¹⁾
		参加
	毒性学に関連する学会 ³⁾ の学術年会	発表 ¹⁾
		参加
講習会等	基礎教育講習会	
	JSOT 主催・公認講習会 ⁴⁾	
合計		

1) 筆頭著者もしくは責任著者（corresponding author）については10点、それ以外の共同発表の場合は5点とする。

2) レフリー制度が整っている学術誌に限る。

3) IUTOX 定期総会（ICT）、ASIATOX 定期総会、SOT 年会、EUROTOX 年会、日本安全性薬理研究会、日本衛生学会、日本環境変異原学会、日本産業衛生学会、日本獣医学会、日本実験動物学会、日本製薬医学会、日本先天異常学会、日本中毒学会、日本毒性病理学会、日本内分泌攪乱化学物質学会、日本免疫毒性学会、日本薬学会、日本薬物動態学会、日本薬理学会、JSOT に設置された部会の学術集会

4) JSOT 生涯教育講習会等

Score Sheet of Eligibility for Admission to the Certification Examination

Please make sure that your total score is over 80, using following score sheet. Please refer to the appendix of “Regulations on the Certification Program for Diplomate of the Japanese Society of Toxicology (JSOT)”, which is also described in the footnotes.

Please attach evidence of each category score: articles; photocopies of certificates for attendance to academic conferences, educational lecture, etc.; and photocopies of abstract for presentations (please add holding years of the conferences).

Please do not forget to write your name and affiliated institute below in this sheet.

Name:

Affiliated institute:

Category	Scoring item	Score
Article	Toxicology-related articles ^{1), 2)}	
Academic activity	JSOT annual meeting	Presentation ¹⁾
		Participation
	Annual meeting of toxicology-related academic society ³⁾	Presentation ¹⁾
		Participation
Educational lecture, etc.	JSOT fundamental education course	
	Lecture, etc. sponsored or authorized by JSOT ⁴⁾	
Total		

1) Ten points awarded for the first author or corresponding author, and 5 points for authors of joint publications.

2) Journals should be limited to those having a peer-review system.

3) IUTOX International Congress of Toxicology (ICT), ASIATOX regular general meeting, SOT annual meeting, EUROTOX annual meeting, Congresses of Japanese Safety Pharmacology Society, The Japanese Society for Hygiene, The Japanese Environmental Mutagen Society, Japan Society for Occupational Health, The Japanese Society of Veterinary Science, Japanese Association for Laboratory Animal Science, The Japanese Association of Pharmaceutical Medicine, The Japanese Teratology Society, Japanese Society for Clinical Toxicology, Japanese Society of Toxicologic Pathology, Japan Society of Endocrine Disruptors Research, The Japanese Society of Immunotoxicology, The Pharmaceutical Society of Japan, The Japanese Society for the Study of Xenobiotics, The Japanese Pharmacological Society, and Scientific meeting organized by JSOT subcommittee

4) JSOT continuing education course, etc.

第47回日本毒性学会学術年会のご案内（第6報）

（年会ホームページ：<http://jsot2020.jp/>）

1. 会期

2020年6月29日（月）～7月1日（水）

この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本学術年会は仙台での通常開催は行わず、「Web開催」にて学術発表・Sponsor企画を実施することといたしました。

皆様には、新しい試みとしてWeb上でのご参加をお願いすることになり、お手数をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2. 会場

Web開催となりました。

3. テーマ

“One Toxicology” ワントキシコロジー
 - 毒性学の知性をすべての生命のために -

4. 年会長

広瀬 明彦（国立医薬品食品衛生研究所）

5. 企画委員（敬称略・五十音順）

石田 誠一（国立医薬品食品衛生研究所）
 石塚真由美（北海道大学）
 小椋 康光（千葉大学）
 小野 竜一（国立医薬品食品衛生研究所）
 鍛冶 利幸（東京理科大学）
 菅野 純（国立医薬品食品衛生研究所）
 小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所）
 古武弥一郎（広島大学）
 佐能 正剛（広島大学）
 澤 智裕（熊本大学）
 渋谷 淳（東京農工大学）
 鈴木 睦（協和キリン（株））
 種村健太郎（東北大学）
 西田 基宏（自然科学研究機構）
 黄 基旭（東北医科薬科大学）
 福井 英夫（アクセリード（株））
 福島 民雄（塩野義製薬（株））
 古川 賢（日産化学（株））
 堀井 郁夫（ファイザー）
 本田 大士（花王（株））
 増村 健一（国立医薬品食品衛生研究所）
 松下 幸平（国立医薬品食品衛生研究所）
 松本 清（武田薬品工業（株））

三島 雅之（中外製薬（株））

宮脇 出（大日本住友製薬（株））

森 和彦（第一三共（株））

山田 久陽（大正製薬（株））

横井 毅（名古屋大学）

吉成 浩一（静岡県立大学）

6. 特別企画（予定、敬称略、仮題）

1) 第18回市民公開セミナー

中止となりました。

2) 年会長招待講演

“International Advances in Tiered Assessment for Combined Exposures: Incorporating Novel Assessment Methods”

Mary E. Meek

(McLaughlin Centre, University of Ottawa, Canada)

3) 特別講演

(1) 「ストックホルム条約の目的と残留性有機汚染物質（POPs）指定の手順」

北野 大（秋草学園短期大学）

(2) “PFAS”

Christopher P. Weis

(National Institutes of Health/NIEHS, USA)

(3) JSOT-KSOT Exchange Promotion Program
 「メタボローム解析を利用したメチル水銀毒性軽減に関わる新規分子機構の解明」

黄 基旭

(東北医科薬科大学 薬学部 環境衛生学教室)

(4) “Preclinical Safety Assessments of Gene Therapy Products”

Michael W. Bolt

(Pfizer, Drug Safety Research and Development, Cambridge, USA)

(5) 「ヒト集団における毒性学」

渡辺 知保（国立環境研究所）

4) 教育講演

“Cellular Adaptation in Toxicology”

Curtis D. Klaassen

(Department of Pharmacology and Toxicology, University of Kansas, USA)

- 5) 特別パネルディスカッション
「アダクトエクスポソームとエピゲノムのクロストーク」
熊谷 嘉人 (筑波大学), 上原 孝 (岡山大学),
伊藤 昭博 (東京薬科大学)
 - 6) シンポジウム (31 セッション)
 - (1) 生殖発生毒性に関する新展開
 - (2) 医薬品における新しい Computational Toxicology の展開: Ontology 思考下でのシステム構築
 - (3) がん免疫療法の毒性とその非臨床研究
 - (4) 硫黄代謝研究の最前線が切り拓く毒性学
 - (5) 日本薬理学会合同シンポジウム: 化学物質の神経毒性評価の現状と課題
 - (6) ヒトにおける薬物動態を考慮した新規 *in silico/in vitro/in vivo* 毒性評価モデルの構築と将来展望
 - (7) ゲノム編集技術とその安全性
 - (8) 抗がん剤による肺毒性のリスク・マネジメント評価戦略
 - (9) 医薬品・食品・化粧品へのヒトでの安全性確保を目指した評価法に対する若手研究者からの提案
 - (10) 日本中毒学会合同シンポジウム: 海産毒 リビジテッド 2.0
 - (11) 次世代研究セミナー: 異分野の革新的研究に学ぶ毒性学の新たな可能性
 - (12) 食品リスク評価研究への新規評価技術の展開
 - (13) 非臨床安全性試験における 3Rs とは
 - (14) バイオジェニックナノ粒子形成機構とその毒性的意義
 - (15) 再生医療等製品の安全性評価
 - (16) 胎盤の機能と生殖発生毒性
 - (17) 低用量/低濃度暴露による発達神経毒性評価系の国際標準化に伴う課題と対応
 - (18) 医薬品開発の初期段階で実施される *in vitro* スクリーニング試験は薬物性肝障害 (DILI) を回避する化合物を選択できたか?
 - (19) メチル水銀毒性発現機序の解明に向けた挑戦
 - (20) iPS 心筋細胞を活用した心毒性研究の最前線
 - (21) 毒性オミクスにおけるエピジェネティクス解析及び人工知能の活用と精度管理
 - (22) MEASURE: ヒト細胞加工製品の造腫瘍性関連試験のバリデーションと国際標準化を目指した官民共同研究
 - (23) JSOT-SOT Exchange Promotion Program: ビックデータの毒性研究・評価への活用
 - (24) 新規工学的手法と薬剤安全性研究の融合
 - (25) リキッドバイオプシーの最前線
 - (26) 日本毒性病理学会合同シンポジウム: 毒性病理学会からのトピック - 多様化するモダリティ評価における毒性病理学 -
 - (27) 新しい非臨床試験評価技術構築のための非臨床試験データ電子化へ向けたチャレンジ
 - (28) 生体模倣システムと臨床予測への道: 毒性学と薬物動態学, 工学の融合
 - (29) 基礎発生学と先天異常学から学ぶ毒性エピジェネティクス
 - (30) レドックトキシコロジーの潮流: 若手研究者が語り合う現在と未来
 - (31) *In vivo* mutagenesis の検出手法の進歩と今後のリスク評価への活用
 - 7) ワークショップ (8 セッション)
 - (1) 次世代型中分子ペプチド医薬品の品質及び安全性確保のための規制要件に関する研究 (AMED 非臨床試験研究班中間報告)
 - (2) 医薬品安全性から見たターゲットプロファイリングの最新の話と戦略事例
 - (3) *In silico* 暴露解析最前線: ヒトと環境
 - (4) 医薬品製造現場における交叉汚染防止のために, 改正 GMP 省令に期待すること
 - (5) 生体イメージング技術を利用した安全性評価への新たな挑戦
 - (6) 重金属のシグナルトキシコロジー
 - (7) トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム: トキシコロジストを透視する - 外から見た期待 -
 - (8) The application and integration of novel safety strategies to influence better decision-making in early drug discovery
7. 一般演題
- 1) 口演の発表時間は 8 分, 討論 4 分の 12 分です。ポスター発表は, e-ポスターによる期限を決めた閲覧型式, 質疑はメール等個々のやり取りとして行う予定です。詳細は年会ホームページをご覧ください。
 - 2) 優秀研究発表賞応募演題
応募者は e-ポスターに加え, 口頭発表 (4 分) と質疑応答 (2 分) を第 1 日目 (6 月 29 日 (月)) に行っていただきます。受賞者の発表は, 第 3 日目 (7 月 1 日 (水)) の総会にて行います。受賞者には, 賞状と副賞を授与します。
 - 3) 学生ポスター発表賞応募演題
審査はポスター発表内容のみで行います。(メールによる質疑を含む。) 受賞者の発表は, 第 3 日目 (7 月 1 日 (水)) の総会にて行います。受賞者には, 賞状と副賞を授与します。なお, 今回応募者には, 学術年会発表時のポスター原稿を, 電子媒体として発表の 1 週間前にご提出いただき, 事前審査を行います (e-ポス

ターによる事前審査)。ご了承下さい。詳細は年会ホームページにてご案内いたします。

8. 参加登録および参加費

参加申込締切日：2020年7月1日（水）

※6月1日（月）以降はクレジットカード決済のみとなります。

詳しくは年会ホームページをご覧ください。

参加登録はインターネットを利用したオンライン登録となります。お一人につき1回のみとさせていただきますので、登録内容に誤りがないようご注意ください。

1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費は「課税（消費税込）」となります。

カテゴリー	参加登録
会員	12,000円
学生会員	3,000円
関連学会会員 ^{*1}	13,000円
非会員	15,000円

* 1 次の学会会員の方です。（50音順）

共催：日本中毒学会
 日本毒性病理学会
 日本免疫毒性学会
 日本薬理学会
 米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛：日本安全性薬理研究会
 日本医薬品情報学会
 日本衛生学会
 日本環境変異原学会
 日本産業衛生学会
 日本実験動物学会
 日本獣医学会
 日本食品衛生学会
 日本食品化学学会
 日本先天異常学会
 日本動物実験代替法学会
 環境ホルモン学会（日本内分泌攪乱化学物質学会）
 日本薬学会
 日本薬物動態学会
 韓国毒性学会

2) お支払い方法

・クレジットカード

※決済等の詳細については、年会ホームページをご確認ください。

※年会参加費には、下記が含まれます。

- ・年会参加証（領収証付）
- ・年会プログラム要旨集（PDF）（冊子体は希望者のみ会期後に配布いたします。事前送付の予定はございませんのでご注意ください。）

9. 懇親会

Web開催のため中止となりました。

10. 展示、ランチョンセミナーなどの募集

オンライン展示、スポンサーセッション、スポンサーCM、広告掲載を募集しております。詳細については年会ホームページをご覧ください。

11. 年会事務局

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
 国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部
 事務局長：山田 隆志
 事務局次長：井上 薫
 TEL：044-270-6688 FAX：044-270-6703
 E-mail：secretariat@jsot2020.jp

第 46 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 46 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500 円（1 部）

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 46 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsotq@jsot.jp

その他のお知らせ

日本動物実験代替法学会第33回大会

日時 2020年11月12日(木)～14日(土)
会場 沖縄科学技術大学院大学(OIST)
大会長 鈴木 真(沖縄科学技術大学院大学(OIST))
大会テーマ 「3Rsに立脚したサイエンス, サイエンスを支える3Rs」
プログラム(予定) 特別講演3演題
シンポジウム7～8セッション
ポスター100演題
大会HP <https://square.umin.ac.jp/jsae33/>

大会事務局

沖縄科学技術大学院大学(OIST)
〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1
TEL: 098-966-8934 FAX: 098-966-2889

運営事務局

株式会社アカネクリエーション内 沖縄MICEサービス
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-19-29
TEL: 098-862-8280 FAX: 098-862-8891
E-mail: jsae33@akane-ad.co.jp

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男記念賞（学術貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

新しい発見を 変わらない品質で

私たち日本クレアは、生命のあらゆる可能性を探求し発展させる基盤として、動物愛護のグローバルな視点に立った世界最高品質の実験動物を提供して参ります。



マウス・ラット

● Closed Colony

- マウス Jcl:ICR
- ラット Jcl:SD, Jcl:Wistar
Br/Han:WIST@Jcl(GALAS)

● MCH (Multi Cross Hybrid)

- マウス MCH(ICR)/Jcl

● Inbred

- マウス C3H/HeNjcl, C3H/HeJcl*¹
C57BL/6Njcl, C57BL/6Jcl*¹
BALB/cAjcl, BALB/cByJcl*¹
FVB/Njcl, DBA/2Jcl*¹, 129*^{Ter}/Svjcl
- ラット F344/Jcl

● 疾患モデル

免疫不全モデル

- マウス BALB/cAjcl-*nu*
C.B-17/1cr-*scid* Jcl
NOD/Shijic-*scid* Jcl
ALY[®]/Nscjcl-*aly**²

- ラット F344/Njcl-*rnu*

1型糖尿病モデル

- マウス NOD/Shijcl

2型糖尿病モデル

- マウス KK/Tajcl, KK-A^y/Tajcl
BKS.Cg-*m*+/*Lepr*^{db}/Jcl*¹

- ラット GK/Jcl, SDT/Jcl, SDT fatty/Jcl

アスコルビン酸合成能欠如モデル

- ラット ODS/Shijcl-*od*

● 疾患モデル

網膜変性疾患モデル

- ラット RCS/Jcl-*rdy*

関節リウマチモデル

- マウス SKG/Jcl

外用保湿剤・外用殺菌消毒薬効果検証モデル

- マウス NOA/Jcl*²

● 遺伝子改変動物

短期発ガン性試験モデル

- マウス CByB6F1-Tg (HRAS)2Jic

乳腺がん高感受性モデルラット

- ラット Hras128/Jcl*³

睪がん高感受性短期発ガンモデルラット

- ラット Kras301/Jcl*³

生体恒常性維持機構解析モデル

- マウス *α*-Klotho KO/Jcl*²

- マウス *klotho*/Jcl*³

アレルギーモデル

- マウス OVA-IgE/Jcl (卵アレルギー)*²
TNP-IgE/Jcl (化学物質アレルギー)*²

● Hybrid

- マウス B6C3F1/Jcl, B6D2F1/Jcl

● Germfree

- マウス MCH(ICR)/Jcl[Gf], C57BL/6Njcl[Gf]
BALB/cAjcl[Gf]

その他の取り扱い動物

● (公財) 実験動物中央研究所維持系統

● サル類

マーモセット Jcl:C.Marmoset(jic) (国内生産)

実験動物用飼料

一般動物用飼料 / 家畜・家禽試験用飼料 / 放射線滅菌飼料 / 特殊実験用配合飼料 / 成分分析

器具・器材

飼育ケージ / 飼育機・ラック / 自動飼育システム / クリーンエアシステム / バイオハザード対策システム / 空調設備・排水処理システム / 管理・実験機器 / 施設計画コンサルティング

受託業務

微生物学的クリーニング / 遺伝子改変マウスの作製 / モノクローナル抗体作製 / 受精卵採取・凍結処理 / 凍結受精卵の供給 / 系統維持及び生産 / 各種処置動物作出 / マイクロバイオーム研究のサポート / 各種受託試験 他

関連業務

動物輸出入 / 微生物モニタリング / 遺伝モニタリング / 各種データ / 情報サービス

業務提携

Physiogenex社(仏): 代謝性疾患領域に特化した薬効薬理試験受託サービス

(株)ジーピーシー研究所: イメージングマウスの作製サービス

*1 *This substrain is at least (a number>20 by definition) generations removed from the originating JAX® Mice strain and has NOT been re-infused with pedigreed stock from The Jackson Laboratory.®

*2 凍結受精卵による維持 ※3 維持系統につき、原則、余剰動物からの出荷



www.CLEA-Japan.com

東京 A D 部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7050(代)
大阪 A D 部	〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7101(代)
【動物・飼料のご注文先: AD受注センター TEL.03-5704-7123】		
東京器材部	〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7	TEL.03-5704-7600(代)
大阪器材部	〒564-9953 大阪府吹田市江の木町6-5	TEL.06-4861-7105(代)
札幌出張所	〒063-0849 札幌市西区八軒九条西10-4-28	TEL.011-631-2725(代)
仙台出張所	〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目30-24	TEL.022-352-4417(代)

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

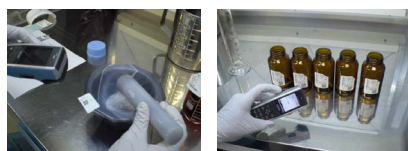
グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International (国際実験動物ケア評価認証協会) 認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応 (CDISC SEND)
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



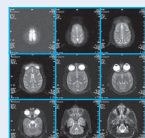
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- MRI



Siemens Allegra 3.0T



カニクイザル
頭部
(T2WI)

- デジタルPCR



QX200 AutoDG

- 超高感度
イムノアッセイ



SMC×PRO

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

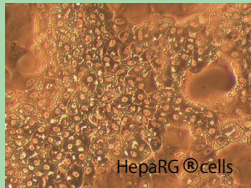
TEL: 03-5565-6140



HepaRG®・初代肝細胞

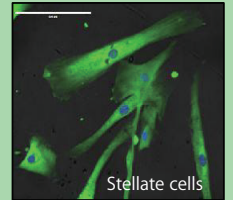
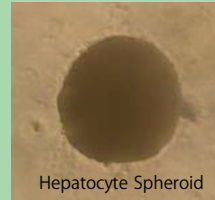


H·E·P·A·R·G
THE HEPATIC STEM CELL LINE



- HepaRG® 凍結バイアル
- HepaRG® 増殖培養キット
- HepaRG® プレート播種タイプ
- CYP3A4G/7R HepaRG®
 - CYP3A4の発現を緑色蛍光で検出可能
 - 鳥取大学が開発 (WO2014061829A1; 薬物代謝酵素誘導および細胞毒性の評価方法、ならびにそのためのベクターおよび細胞)

- ヒト凍結肝細胞
 - 接着 / 非接着 / スフェロイド培養用
- アニマル凍結肝細胞
 - 動物種：マウス、ラット、イヌ、サル
- ヒト凍結非実質肝細胞、星細胞等
- ヒト非凍結肝細胞 (プレート播種タイプ)

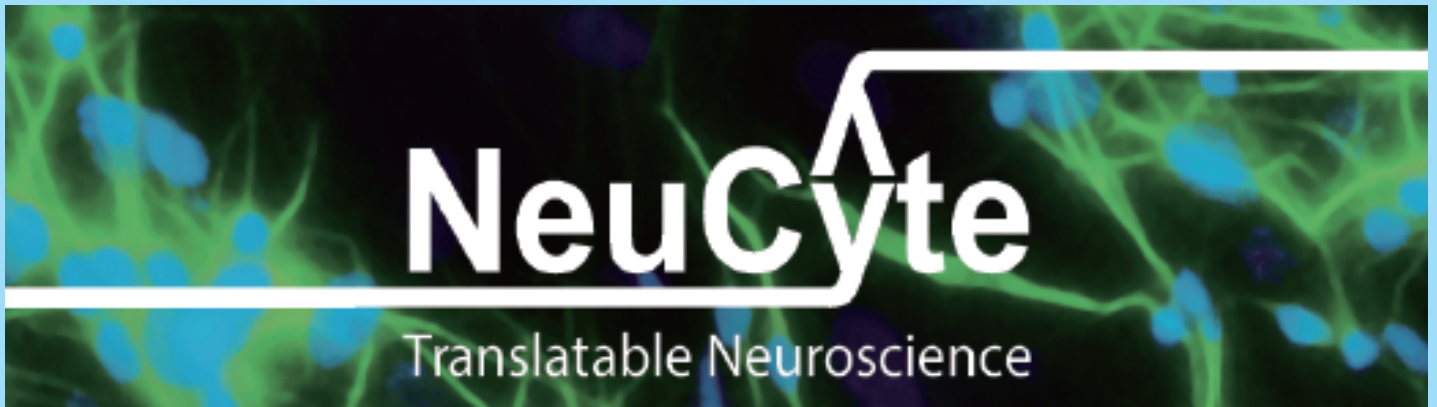


受託試験

- 薬物相互作用評価試験
- 肝毒性評価試験
- 腎毒性評価試験



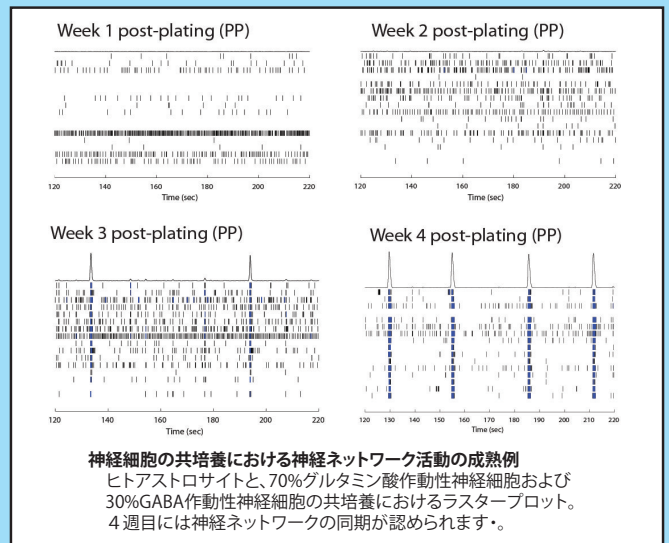
ヒトiPS細胞由来神経細胞 (グルタミン酸作動性/GABA作動性)



スタンフォード大学で開発された特殊なプログラミング技術によって作られた、ヒトiPS細胞由来の神経細胞群です。

グリア細胞と神経細胞を共培養することで、より生体に近い条件を再現し、数か月の長期間培養を可能にしました。

生体分布や実験系に合わせて、グルタミン酸作動性神経細胞と GABA 作動性神経細胞の比率を調整してご利用下さい。



細胞、組織、微生物株、培養試薬、研究用試薬等を取り扱っております。



株式会社 **ケーエーシー**

<お問い合わせ先>
TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748
E-mail:shiyaku-info@kacnet.co.jp

会社HP: <https://www.kacnet.co.jp/>
細胞検索サイト「細胞.jp」: <https://www.saibou.jp/>

細胞.jp 製品の在庫・価格等を検索可能!

SLCの実験動物



マウス

●アウトブリード

Slc: *cd1*
☆ RCS
Slc: ICR

●インブリード

DBA/1JmsSlc(コラーゲン薬物誘導関節炎)
BALB/cCrSlc
C57BL/6NcrSlc-C57BL/6JmsSlc
C3H/HeSlc
C3H/HeNSlc
C3H/HeJYokSlc
DBA/2CrSlc
NZW/NSlc
A/JmsSlc
AKR/NSlc
NC/NgaSlc(薬物-アレルギー誘導アトピー性皮膚炎)
CBA/NSlc
129x1/SvJmsSlc

●B10コンジュニック

C57BL/10SnSlc
B10.A/SgSnSlc - B10.BR/SgSnSlc
B10.D2/SgSnSlc - B10.S/SgSlc

●ハイブリッド

B6D2F1/Slc(Slc:CBDF1)
CB6F1/Slc(Slc:CBF1)
CD2F1/Slc(Slc:CDF1)
B6C3F1/Slc(Slc:B6C3F1)
※上記以外の系統については御相談ください。

●ヌードマウス(ミュータント系)

BALB/cSlc-*nu*(*Foxn1^{nu}*)
KSN/Slc(*Foxn1^{nu}*)

●疾患モデル

BXSB/MpJmsSlc-*Yaa*(自己免疫疾患)
C3H/HeJmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas^{gpr}*)
C57BL/6JSlc-*gld*(自己免疫疾患-*Fas^{gld}*)
C57BL/6JmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas^{gpr}*)
MRL/MpJmsSlc-*Jpr*(自己免疫疾患-*Fas^{gpr}*)
NZB/NSlc(自己免疫疾患)
NZBWF1/Slc(自己免疫疾患)
WB6F1/Ki-Ki^{gpr}/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki^{gpr}*)
WB6F1/Ki-Ki^{gpr}/Slc(肥満細胞欠損鼠-*Ki^{gpr}*)
NG/Nga(皮膚炎)
☆ Hos: HR-1(ヘアレスマウス)
☆ Hos: HRM-2(メラニン保有ヘアレスマウス)
★ SAMR1/TaSlc(非胸腺リンパ腫-SAM系対照動物)
★ SAMP1/SkuSlc(老化アミロイド症)
★ SAMP6/TaSlc(老年性骨粗鬆症)
★ SAMP8/TaSlc(学習・記憶障害)

★ SAMP10/TaSlc(脳萎縮を伴う学習・記憶障害)

AKITA/Slc(糖尿病)
☆ TSOD(2型糖尿病)
C57BL/6JHamSlc-*ob/ob*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)
C57LKS/Jlar-*+**Lepr^{ob}*/*+**Lepr^{ob}*(肥満・2型糖尿病-*Lepr^{ob}*)
☆ NSY/Hos(2型糖尿病)
C57BL/6JHamSlc-A/*+*(肥満)
HIGA/NscSlc(1gA腎症)
C.KOR/StmSlc-Apoe^{0/0}(アポE欠損高血圧-Apoe^{0/0})
C.KOR/StmSlc-Tra3ip2^{0/0}(アトピー性皮膚炎マウス-Tra3ip2^{0/0})

ラット

●アウトブリード

Slc: SD
Slc: Wistar
Slc: Wistar/ST
Hos: Dorenyu
☆ lar: Wistar(Wistar-Imamichi)
☆ lar: Long-Evans
☆ lar: Copenhagen(前立腺癌罹患種)

●インブリード

F344/NSlc
WKAH/HkmSlc
BN/SSNSlc
DA/Slc(薬物誘導性関節炎)
LEW/SSNSlc(薬物誘導性関節炎)

●疾患モデル

★ SHR/Izm(高血圧)
★ SHRSP/Izm(脳卒中)
★ WKY/Izm(SHR/Izmのコントロール)
★ SHRSP/Dmcr(NASHモデル【HFC飼料給餌】)
★ SHR/NDmcr-*cp/cp*(肥満・糖尿・高血圧-*Lepr^{cp}*)
★ SHRSP/Ezo(AD/HD)
★ SHRSP/IDmcr-*fa/fa*(肥満・高血圧・脳血管障害-*Lepr^{cp}*)
DIS/EisSlc(食塩感受性高血圧症)
DIR/EisSlc(食塩抵抗性)
Slc: Zucker-*fa/fa*(肥満-*Lepr^{cp}*)
☆ Hos: ZFDM-*Lepr^{cp}*(糖尿・肥満)
HWY/Slc(ヘアレスラット)
☆ Hos: OLETF(2型糖尿病)
☆ Hos: LETO(OLETFのコントロール)

モルモット

●アウトブリード

Slc: Hartley

ウサギ

●アウトブリード

Slc: JW/CSK
Slc: NZW

ハムスター

●アウトブリード

Slc: Syrian

●疾患モデル

J2N-k(心筋症モデル)
J2N-n(J2N-kのコントロール)

スナネズミ

●インブリード

MON/Jms/GbsSlc

無菌動物(ラット)

●ラット

Slc: Wistar

●インブリード

F344/NSlc(GF)

エンヴィーゴ(旧ハランOEM生物動物)

●アウトブリードラット

RocHan®: WIST

●インブリードマウス

CBA/CaOlaHsd

●免疫不全モデルマウス

C.B-17/1crHsd-*Prkdc^{scid}*

遺伝子改変動物

●マウス

C57BL/6-Tg(CAG-EGFP)(グリーンマウス)

C57BL/6JmsSlc-Tg(*gpr delta*)

●ヌードマウス

C57BL/6-BALB/c-*nu/nu*-EGFP(EGFP全身発現ヌードマウス)

●ラット

SD-Tg(CAG-EGFP)(グリーンラット)

F344/NSlc-Tg(*gpr delta*)

Slc:WistarHanover/Rcc-Tg(*gpr delta*)

その他(conventional動物)

●ビーグル犬

☆ 国内繁殖生産(一財)動物繁殖研究所

●カニクイザル

☆ カニクイザル(輸入)

●ミニブタ

☆ 国内繁殖生産(一財)日生研-NPO法人医用ミニブタ研究所

●マイクロミニビッグ

☆ 国内繁殖生産(富士マイクラ(株))

●フェレット

自家繁殖生産(中伊豆支所)

★印は受託生産動物、☆印は仕入販売動物です。

受注生産動物

マウス

●疾患モデル

C3H/HeJmsSlc-*cid*(自己免疫疾患動物-*Fas^{cid}*)
C57BL/6 JHamSlc-*bg/bg*(NK細胞活性低下)
CTS/Shi(免疫不全・内臓)
(NZW×BXSb)F1/Slc(紫斑症)

ラット

●インブリード

ACI/NSlc

●疾患モデル

DafHS-Z-*Lepr^{ob}*/Slc
GK/Slc(2型糖尿病)
EHBR/EisSlc(高ビリルビン尿症)
PVG/SeaSlc
KDP1(型糖尿病-*CtHh*)
WBN/KobSlc(高血糖好発)
WBN/KobSlc-*fa/fa*(高血糖好発-*Lepr^{ob}*)
NAR/Slc(無アルブミン症)
NERI(自発性糖尿病・慢性腎臓病・腎臓不全発症)
DA/Slc-*tg/tg*(NK細胞機能低下)
SDR(矮小体症ラット)
OM/NSlc(栄養摂取-腎臓不全)
FH/HamSlc(脳内ドパミン系の機能不全)
F344/NSlc-Apoe^{0/0}(大腸癌易発)
Gunn/Slc-*gji*(高ビリルビン血症)
Slc: WsRc-WsWs(肥満細胞欠損鼠-*Kit^W*)

モルモット

●アウトブリード

Hos: Weiser-Maples(メラニン保有)

●インブリード

Strain2/Slc
Strain13/Slc

ウサギ

●アウトブリード

Slc: JWF-NIBS(ヘアレス)



日本エス エル シー株式会社
〒431-1103 静岡県浜松市西区湖東町3371-8
TEL(053)486-3178(代) FAX(053)486-3156
<http://www.jslc.co.jp/>

営業専用
TEL

関東エリア (053)486-3155(代)
関西エリア (053)486-3157(代)
九州エリア (0942)41-1656(代)

一般社団法人 日本毒性学会

【名誉会員】

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	白須 泰彦	黒岩 幸雄	井村 伸正
佐藤 哲男	渡辺 民朗	高橋 道人	榎本 眞
小野寺 威	遠藤 仁	菅野 盛夫	黒川 雄二
鎌滝 哲也	赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓
福島 昭治	津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫
大野 泰雄	上野 光一	山添 康	

【功労会員】

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
菊池 康基	田中 悟	大沢 基保	今井 清
降矢 強	玄番 宗一	唐木 英明	仮家 公夫
暮部 勝	野村 護	牧 栄二	三森 国敏
佐神 文郎	遠山 千春	小野寺博志	杉本 哲朗
西田 信之			

【賛助会員】

(五十音順)

●ダイヤモンド

(株)新日本科学

●プラチナ

第一三共(株)

●ゴールド

旭化成ファーマ(株)

アステラス製薬(株)

EAファーマ(株)

エーザイ(株)

大塚製薬(株)

花王(株)

杏林製薬(株)

興和(株)

サントリー MONOZUKURI エキスパート(株)

塩野義製薬(株)

シミックファーマサイエンス(株)

住友化学(株)

ゼリア新薬工業(株)

大正製薬(株)

大鵬薬品工業(株)

田辺三菱製薬(株)

帝人ファーマ(株)

トーアエイヨー(株)

(一社)日本化学工業協会

日本新薬(株)

富士フィルム(株)

(株)ボゾリサーチセンター

持田製薬(株)

ライオン(株)

あすか製薬(株)

(株)安評センター

(株)イナリサーチ

(株)LSIメディアエンス

小野薬品工業(株)

一般財団法人化学物質評価研究機構

協和キリン(株)

三栄源エフ・エフ・アイ(株)

(株)三和化学研究所

(株)資生堂

昭和電工(株)

(一財)生物科学安全研究所

千寿製薬(株)

大日本住友製薬(株)

武田薬品工業(株)

中外製薬(株)

(株)DIMS 医学研究所

東レ(株)

日本香料工業会

ファイザー(株)

扶桑薬品工業(株)

Meiji Seika ファルマ(株)

(株)薬物安全性試験センター

【役員】(2018～2019年度)

理事長	熊谷 嘉人	小川久美子	小椋 康光
理事	青木 豊彦	菅野 純	北嶋 聡
	鍛冶 利幸	鈴木 睦	高崎 渉
	小林 章男	苗代 一郎	永沼 章
	角崎 英志	福井 英夫	藤原 泰之
	広瀬 明彦	宮脇 出	山田 久陽
	三浦 伸彦		
	吉成 浩一		
監事	中村 和市		
	姫野誠一郎		

【学術年会長】

第47回(2020年) 広瀬 明彦
 第48回(2021年) 福井 英夫
 第49回(2022年) 石塚真由美

【委員会】(2018～2019年度)

●総務委員会

◆連携小委員会

◆評議員選考小委員会

◆名誉会員および功労会員選考小委員会

◆指針値検討小委員会

●財務委員会

●編集委員会

◆JTS編集委員会

◆FTS編集委員会

◆Executive Editor小委員会

◆田邊賞選考小委員会

●教育委員会

◆生涯教育小委員会

◆基礎講習会小委員会

◆認定試験小委員会

●学術広報委員会

◆学会賞等選考小委員会

◆佐藤哲男記念賞選考小委員会

◆特別賞等選考小委員会

◆技術賞選考小委員会

◆日化協 LRI 賞選考小委員会

◆学術小委員会

◆広報小委員会

★その他関連の委員会

- IUTOX Executive Committee, Director
- IUTOX Nominating Committee, Chair
- ASIATOX 担当

●印：常置委員会 ◆印：小委員会

広瀬 明彦	(委員長)		
青木 豊彦	小椋 康光	鍛冶 利幸	
熊谷 嘉人	鈴木 睦	永沼 章	
菅野 純	(委員長)		
小川久美子	北嶋 聡	中村 和市	
広瀬 明彦	山田 久陽	(委員長)	
佐藤 雅彦	(委員長)		
小林 章男	苗代 一郎	藤原 泰之	
三浦 伸彦	(委員長)		
広瀬 明彦	(委員非公開)		
広瀬 明彦	(委員長)		
市原 学	北嶋 聡	渋谷 淳	
古川 賢	三島 雅之	(委員長)	
青木 豊彦	(委員長)		
小川久美子	福井 英夫	藤原 泰之	
鍛冶 利幸	(委員長)		
古武 弥一郎	(副委員長)		
青木 康展	阿部(富澤) 香織	有蘭 幸司	
石井 祐次	市原 学	佐藤 雅彦	
渋谷 淳	新開 泰弘	神野 透人	
鈴木 雅実	角 大悟	曾根 秀子	
立花 研	中川 一平	中西 剛	
永沼 章	中村 和市	沼澤 聡	
根本 清光	黄 基旭	福島 民雄	
藤原 泰之	三浦 伸彦	務台 衛	
山田 久陽	山手 丈至	山本 千夏	
吉成 浩一	鰐淵 英機		
鍛冶 利幸	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
藤原 泰之	(副委員長以下非公開)		
鈴木 睦	(委員長)		
高崎 渉	古川 賢		
鈴木 睦	(委員長)		
五十嵐勝秀	石塚真由美	於勢 佳子	
真田 尚和	姫野誠一郎	堀 妃佐子	
義澤 克彦	(委員長)		
高崎 渉	(委員長)		
橋本 清弘	(副委員長)		
朝倉 省二	大塚 まき	小野寺博志	
古川 賢	和久井 信		
古川 賢	(委員長)		
(副委員長以下非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
永沼 章	(委員長)		
(委員非公開)			
小椋 康光	(委員長)		
小椋 康光	(委員長)		
(委員非公開)			
清水 俊敦	(委員長)		
(委員非公開)			
北嶋 聡	(委員長)		
(委員非公開)			
山田 久陽	(委員長)		
天野 幸紀	石塚真由美	高崎 渉	
高橋 祐次	藤原 泰之	吉成 浩一	
久田 茂	(委員長)		
児玉 晃孝	(副委員長)		
橋本 愛			

2020年6月1日 印刷

2020年6月1日 発行

発行人 熊谷嘉人

編集人 鍛冶利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsothq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161